

2015 年 11 月 30 日
JUSTICE 運営委員会

論文公表実態調査チームの活動状況について

1. 活動状況

10 月 9 日(金)	第 1 回会議 ・各大学等における調査・検討・準備状況について ・調査の進め方について
11 月 4 日(水)	Thomson Reuters との予備協議（主査，JUSTICE 事務局） ・Web of Science からのデータ抽出・提供について
11 月 19 日(木)	Elsevier との予備協議（主査，JUSTICE 事務局） ・Scopus からのデータ抽出・提供について
11 月 24 日(火)	Thomson Reuters との協議（主査，交渉班，JUSTICE 事務局） ・Web of Science からのデータ抽出・提供について

2. 現在の状況

- ・必要なデータ項目を網羅した基本台帳データベースを構築し、それを基にして、分析や集計を行うこととする。
- ・まず、基本台帳データベースの構築について、本チーム委員の所属機関で契約している Scopus や Web of Science を用いて委員がデータの抽出を行うか、Elsevier や Thomson Reuters にデータの抽出・加工を依頼して購入するかを検討する。

3. 作業分担

チームを 3 つのグループに分け、検討を進めている。

1) Scopus の調査：長坂(京大)，吉田(NII)

Scopus を用いて、どのようなデータの抽出・加工が可能か、検討する。

2) Web of Science の調査：三角(千葉大)，原(東大)

Web of Science を用いて、どのようなデータの抽出・加工が可能か、検討する。

3) 業者との協議：尾城(東大)，砂押(東工大)，森嶋(慶大)，笹淵(早大)，JUSTICE 事務局

どのようなデータの提供が可能か、また、その価格について、Elsevier, Thomson Reuters と協議を行う。

4. 今後の活動予定

2015 年度：予備調査

各グループで検討を進めた後、12 月に第 2 回会議を開催し、基本台帳データベースの構築方法、調査方針を定める。

(2016 年度：本格的な調査の実施)

以上